

# 学習プログラム「キリンマスター」 教員用解説シート

対象動物	キリン
場所	キリン寝室前
内容	
<b>導入</b> キリンの生息地であるサバンナについて簡単に説明しイメージを共有し、キリンの体の特徴がどのような環境で役立っているのか連想しやすくする。	
<b>展開</b> キリンの特徴的な部位について、本物や派生物を観察しながら、以下の項目のいずれかについて、その使い方や仕組みについて解説する。 (1) 首 [特徴] とても長い。天敵を発見しやすい、高い所のエサを優先的に食べられる等の利点がある。また、オス同士が争う時は首を振り回して相手にぶつける「ネッキング」を行う。 (2) 舌 [特徴] 可動部分が長く、色は少し黒っぽい。よだれが粘着質でねっとりしている。野生でよく食べている植物は「アカシア」で、この植物には長い棘がたくさん生えている。キリンは舌で植物を巻き取るようにして食べるが、粘着質なよだれには舌や口の中を保護する役割があると言われている。 (3) 脚、蹄 [特徴] ライオンなどに襲われたときは後ろ足で回し蹴りする「キッキング」をする。蹄は2つあり、ヒトで言うと中指と薬指に該当する。足先全体が硬い蹄で覆われており、足先を保護している。 (4) 歯、角、目の位置 [特徴] 草や枝葉を引きちぎるための前歯と歯茎、それをすりつぶすための平らな奥歯。角は骨でできており数は前面から見える部分に3つ、後に2つ。目は顔の横に位置しており、視野が広く異変を察知しやすい。 (5) 消化器官、糞 [特徴] 胃の数は4つ。「反芻」と呼ばれる吐き戻しと咀嚼、飲み込みを繰り返し行い、草を消化しやすくしている。腸の長さは約50m。よく消化された後に出てくる糞はコロコロとして小さく、草の繊維はほとんど見えない。	
<b>ふりかえり・まとめ</b> 体の特徴のふりかえり。キリンの体がもつ能力のすごさについて感じてもらう。他の動物を観察する時も、体の特徴を発見すると、能力を連想したり、理解したりできるということを知ってもらう。	